

第35回 理科サロン

ゲノム医療の現在と未来



京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻 特定教授

西垣 昌和氏

生物は、DNAとして保存される「遺伝情報」を設計図にして形作られています。この、生物がもつ遺伝情報全てを「ゲノム」と言います。例えば、イネの設計図となるゲノムは「イネゲノム」、大腸菌であれば「大腸菌ゲノム」、そしてヒトのゲノムは「ヒトゲノム」と言います。2003年に国際的な研究プロジェクトであった「ヒトゲノム計画」が終了し、60(=30×2)億塩基対からなるヒトゲノムが解読されました。現在は、ヒトゲノム情報をもとにした新たな医療であるゲノム医療の確立にむけ、世界中で研究が進められています。

本サロンでは、ゲノム医療は何を目指し、現在はどの段階にあるのか、そしてゲノム医療を展開するうえでの課題について紹介します。

* 西垣先生は国際遺伝看護学会の理事を務められ、ゲノム医療と臨床や看護を結びつける研究を進めておられる新進気鋭の研究者です。

日時：1月17日(金)

午後6時～8時 講演会
午後6時半までは西垣先生
を囲んで夕食(*)

場所：けやきの会事務所

豊中市千里園2-1-37
(電話 06-6857-2562)

参加費：無料

* 夕食は各人で買ってご持参下さい。
飲み物は用意しています。また、
時間ぎりぎりになられる方のために
軽食を用意しています。

